



## おそうじ隊の活動報告 ～ポイ捨てゴミにみる急がれる環境教育などの対策～



今年度のまちなかおそうじ隊は山口県環境保全事業団の助成を受け、ポイ捨てごみの回収と分別計量作業を行っています。宇部に来られる途上国の人達から見ると、「日本はごみの散乱もなく、とてもきれいだ」と言われますが、注意してみるとコンビニ周りでは、10mおきくらいに包み紙や空き缶、紙コップなどが捨てられているところもあります。山口宇部道路では両側合わせて400個以上のポイ捨てごみが観察されます。川に直接投げ捨てられる場合もあるでしょうが、道路脇のポイ捨てごみは雨で川から、海まで流されて行きます。その間に泥や砂で汚れてしまい資源ごみとして出すこともできなくなります。

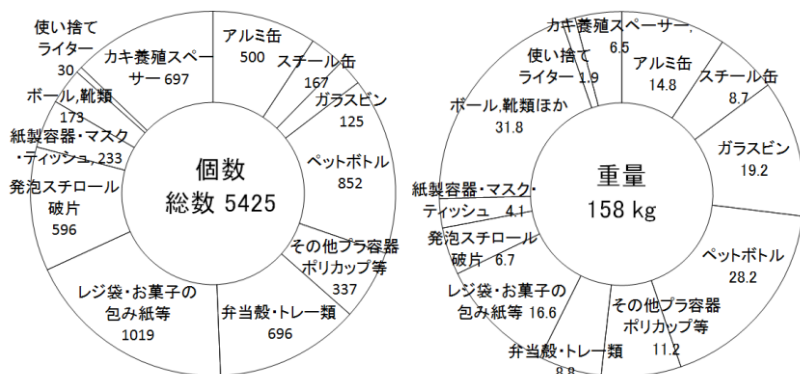
右図はこれまで調査した延べ7回の結果です。場所により異なりますが、ペットボトルや発泡スチロールの破片などが目につきます。

ーポイ捨てごみのランク分けを以下のようにしてみましたー

- ①：人や生き物たちに迷惑をかける、悪いという意識が全くなく、子どもが無意識にするポイ捨て。
- ②：悪いという事はうすうす知りながら横着な気持ちでするポイ捨て。
- ③：いくらが悪いと知りつつ、自分のまわり（自動車内）をきれいにするために食事のあとのごみ、食べ残し、飲み残しを含めてレジ袋にまとめて捨てるポイ捨て。
- ④：③と⑤の中間的なケース、空き缶などに貯めていたタバコの吸い殻をまとめて捨てるポイ捨て。
- ⑤：処理を委託された質・量ともに厄介なごみを、処分費用節約のためにやる不法投棄。

このような調査を通じて、小さい時の環境教育や、ポイ捨て禁止条例の罰則適用等の対策を強化して、ポイ捨てごみをなくしたいと強く思います。  
(浮田)

ポイ捨てごみの調査結果



### 調査場所及び回数

- |                                |                                   |
|--------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 中川 2回 | <input type="checkbox"/> 床波海岸 2回  |
| <input type="checkbox"/> 塩田川1回 | <input type="checkbox"/> 山口宇部道路1回 |
| <input type="checkbox"/> 小野湖1回 | <b>合計7回</b>                       |
- (調査期間 H28.4月～H29.1月)

環境サロンは、身近な環境問題などをテーマに、みんなで気軽に学びあえる場、語りあえる場です。一度だけのご参加も歓迎です。ぜひ参加されませんか！

演題：「里山の保全と再生について」

講師：徳永 豊 さん

(山口県環境アドバイザー)



とき：平成29年2月24日(金)18時～20時  
ところ：まちなか環境学習館

周南地域を中心とした県内の里山の保全再生の現状を知り、森林管理や農林業の維持について、社会はどのように対応すべきかや、環境学習の場としての活用方法について考える。

### 環境省プロジェクト

申込不要  
聴講無料

◇ 校区ふれあいセンターWG 研修会 ◇

演題：「雨水利用の環境保全効果について(仮題)」

講師：笠井利浩氏(福井工業大学教授)

日時：2月4日(土) 15時～17時

場所：宇部市総合福祉会館  
ボランティアセミナールーム大(2階)

## まちなか銀天おそうじ隊募集!

2月26日(日)15:00～

集合場所：まちなか環境学習館前

まちなかおそうじ隊は月に一度、まちなか環境学習館周辺や銀天街アーケードや塩田川、中川等を掃除しています。

参加者には環境地域通貨エコハ2枚進呈!  
おそうじの後、茶話会をしています。



宇部市環境学習ポータルサイト

「うべっくる」

うべっくる

検索

<http://www.ubekuru.com>

宇部市のいろいろな環境学習拠点の紹介、環境関連のイベントのお知らせなど、随時更新しています。

「銀天エコプラザ」の詳しい紹介もあります。

Facebook や Twitter へも、こちらからアクセスできます。



# 非営利株式会社 市民共同発電うべ 設立報告と出資のお願い



《あなたが創る 宇部の未来 エネルギーの未来》をキャッチフレーズとして、平成 28 年 10 月 2 日「非営利株式会社市民共同発電うべ」を設立いたしました。

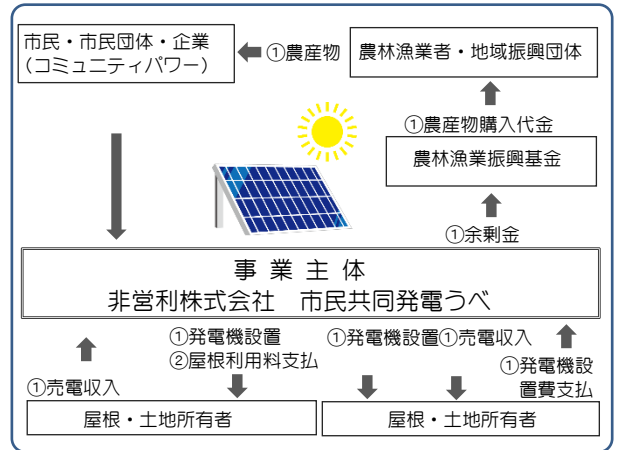
## 【会社の目的】

- 1) 地球温暖化ガスの排出量を削減し、地球温暖化(気候変動)防止に貢献する。
- 2) 電力を自給自足することにより、地域の活性化に貢献する。  
(現在宇部市から年間約160億円が電気料として中国電力に支払われ、その大部分が化石燃料費として国外に消失しています。エネルギーの自給自足を促進することによりこれを防止し、地域を活性化しようとするものです。)
- 3) 自然エネルギー電源を普及促進することにより、持続可能な社会の実現に貢献する。
- 4) 剰余金が発生した場合、里山・里海活性化基金として積み立て、農産物や、海産物を購入し出資者にお届けすることにより、疲弊しつつある里山・里海地域の活性化に貢献する。

## 【事業内容】

- 1) ハード事業
  - ① 自然エネルギー(太陽光、小水力、風力)を活用した発電事業
- 2) ソフト事業
  - 自然エネルギーを電源とする発電事業に関する
  - ② 発電システムの開発、デザイン(設計)、施工、管理運営
  - ② 発電システムに関するコンサルタント、収益性のシミュレーション等
  - ③ シンポジウムの開催
  - ④ その他目的の達成に必要な事業

## 【事業計画】



## 【出資協力者の募集】

1株1万円で、出資者を募集しています。  
 お問い合わせ、お申込み先  
 非営利株式会社 市民共同発電うべ  
 090-7375-5801 (津島)

—ご協力よろしくお願ひします—

## うべ環境コミュニティー会員 ほっとコラム



職員駐車場から急ぎ足で「まちなか環境学習館」へ。タイムカードは8:40の印字です。9時オープンですからちょっとゆとりはあるのですが…。雑巾2枚と床拭き用具を持って4階の学習室へ素早く移動します。ドアを開け放し、換気扇を回して空気の入替えをします。トイレと手洗い場に洗剤を吹き付けておきます。洗剤と汚れがなじむまでの間に、33席の学習机を整理整頓します。ここでは2枚の雑巾を両手に持って、サッサと拭いていきます。新幹線の掃除の様子がテレビで紹介されたことがありますけれど、真似して効率よく体を動かします。33本の照明器具も同時に拭きあげます。埃が結構付いています。イスにゴミが付いていないかのチェックもします。雑巾は、タオルをそのまま使用します。折りたたんで使うので何面も利用できます。床拭きは全体をやりきれないので、汚れが目立つところを優先にやります。

さて、最後はトイレの清掃です。ブラシで擦って、トイレ用の紙雑巾で床も仕上げます。手洗い場は、机を拭いた雑巾の1枚を洗いながら仕上げます。

## 『こころを込めて～学習室清掃～』

髪の毛など落ちていないように注意深く。

オープン2分前、照明をつけて出入り口に立ちます。今、清掃の終わった学習室を見渡し、「今日も気持ちよく勉強してもらえますように」と心の中でつぶやきます。『心はいつも見ているものに似てくる』ということをお話いただきました。20年ほど前だったでしょうか。まずは、身近な環境を良くすることから。こころを込めて清掃します。

(山根)



## 宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目 11 番 21 号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekankyocom@gmail.com

開館時間 9時～21時 HPアドレス; <http://ubekuru.com/>

休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

